2026年度 教育本部事業報告(一覧)

2026/5/7

No	事業管理番号	行 事 名	日 程		参加人数	合格者数 等	会 場
◇県連関係							
☆スキー関係							
1	教1	教育本部会議	2025年 11月 8日 (土)		54	－	パルティ
2	教3	SAJｽｷｰ技術員及びSAT技術員会議	2025年 12月 13日 (土) ・14日(日)		26	－	ハンターマウンテン塩原
3	教15	SAJ指導者研修会講師研修	2026年 1月 6日 (火)		事業中止	－	エーデルワイススキーリゾート
4	教5	SAJ指導者研修会(1次)	2025年 12月 20日 (土) ～21日(日)		109	－	ハンターマウンテン塩原
		SAJ公認スキー検定員クリニック(1次)			86	－	
5		SATスキーインストラクター研修会(1次)	2025年 12月 20日 (土) ～21日(日)		4	－	
6	教6	SAJ指導者研修会(2次)	2026年 1月 8日 (木) ～9日(金)		22	－	エーデルワイススキーリゾート
		SAJ公認スキー検定員クリニック(2次)			19	－	
7		SATスキーインストラクター研修会(2次)	2026年 1月 8日 (木) ～9日(金)		3	－	
8	教7	SAJ指導者研修会(3次)	2026年 2月 14日 (土) ～15日(日)		30	－	日光湯元スキー場
		SAJ公認スキー検定員クリニック(3次)			20	－	
9		SATスキーインストラクター研修会(3次)	2026年 2月 14日 (土) ～15日(日)		4	－	
10	教23	第63回栃木県スキー技術選手権大会	2026年 1月 17日 (土) 予備日18日(日)		63	－	ハンターマウンテン塩原
11	教24	第18回ｵｰﾌﾟﾝｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｽｷｰ技術選手権大会	2026年 3月 15日 (日)		33	－	ハンターマウンテン塩原
12	教24	2026ジュニアスキー技術選手権大会	2026年 3月 15日 (日)		5	－	ハンターマウンテン塩原
13	教24	第15回学童スキー技術選手権大会	2026年 3月 15日 (日)		2	－	ハンターマウンテン塩原
14	教24	2026ｵｰﾌﾟﾝﾏｽﾀｰｽﾞｽｷｰ技術選手権大会	2026年 3月 15日 (日)		30	－	ハンターマウンテン塩原
15	教10	指導員・準指導員受検者養成講習会(A)	2025年 11月 16日 (日)		23	－	パルティ
16	教11	準指導員受検者養成講習会(B)	2025年 12月 13日 (土)		17	－	ハンターマウンテン塩原
17	教12	指導員・準指導員受検者養成講習会(C－1)	2025年 12月 27日 (土) ・28日(日)		23	－	ハンターマウンテン塩原
18	教13	指導員・準指導員受検者養成講習会(C－2)	2026年 1月 10日 (土) ・11日(日)		23	－	会津高原だいくらスキー場
19	教14	指導員・準指導員受検者養成講習会(C－3)	2025年 2月 14日 (金) ・15日(土)		19	－	会津高原だいくらスキー場
20	教25	第70回スキー準指導員検定会	2026年 2月 28日 (土) 予備日1日(日)		19	15	会津高原だいくらスキー場
21	教32	SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第1次)	2025年 12月 20日 (土) ～21日(日)		4	4	ハンターマウンテン塩原
22	教32	SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第2次)	2026年 1月 8日 (木) ～9日(金)		1	1	エーデルワイススキーリゾート
23	教27	公認スキー検定員(B・C級)検定会	2026年 3月 22日 (日)	B級	2	2	ハンターマウンテン塩原
				C級	12	12	
24	教26	スキープライズテスト[T／P・C／P](第1回)	2026年 2月 7日 (土)	CP	9	0	ハンターマウンテン塩原
				TP	17	1	
25	教26	スキープライズテスト[T／P・C／P](第2回)	2026年 2月 11日 (水)	CP	13	3	ハンターマウンテン塩原
				TP	32	9	
26	教26	スキープライズテスト[T／P・C／P](第3回)	2026年 3月 1日 (日)	CP	17	5	ハンターマウンテン塩原
				TP	24	1	
27	教26	スキープライズテスト[T／P・C／P](第4回)	2026年 3月 22日 (日)	CP	27	2	ハンターマウンテン塩原
				TP	33	1	
28	教30	教育関係職員及び学校教職員ｽﾉｰｽﾎﾟｰﾂ講習会	2026年 1月 31日 (土) ～1日(日)		14	－	会津高原たかつえスキー場
29	教16	SAJ公認パトロール受検者養成講習会(A日程)	2025年 12月 26日 (金)		2	－	ハンターマウンテン塩原
30	教16	SAJ公認パトロール受検者養成講習会(B日程)	2026年 2月 4日 (水) ～5日(木)		2	－	ハンターマウンテン塩原
31	教9	SAJ公認パトロール研修会	2026年 2月 12日 (木) ～13日(金)		4	－	ハンターマウンテン塩原
32	教19	選手強化合宿(1次)	2025年 12月 24日 (水) ～25日(木)		5	－	ハンターマウンテン塩原
33	教20	選手強化合宿(2次)	2026年 1月 12日 (月) 祝日		8	－	ハンターマウンテン塩原
34	教21	選手強化合宿(3次)	2026年 3月 2日 (月) ～4日(水)		4	－	田沢湖スキー場
☆スノーボード関係							
1	教2	教育本部スノーボード部員会議	2025年 12月 13日 (土)		4	－	ハンターマウンテン塩原
2	教8	SAJ スノーボード指導者研修会	2025年 12月 21日 (日)		10	－	ハンターマウンテン塩原
		SAJ公認スノーボード検定員クリニック			6	－	
		スノーボード資格移行講習会			0	－	
3	教17	スノーボード指導員受検者養成講習会	2025年 12月 28日 (日)		4	－	ハンターマウンテン塩原
4	教33	北関東スノーボード技術選強化練習会	2026年 1月 31日 (土)		4	－	鹿沢スノーエリア
5	教18	スノーボード準指導員受検者養成講習会	2026年 2月 14日 (土) ～15日(日)		事業中止	－	会津高原だいくらスキー場
6	教28	第24回スノーボード準指導員検定会	2026年 3月 7日 (土) 予備日8日(日)		0	0	会津高原だいくらスキー場
7	教46	公認スノーボード検定員(B・C級)検定会	2026年 3月 8日 (日)	B級	0	0	会津高原だいくらスキー場
				C級	0	0	
◇北関東ブロック関係					本連盟関係		
1	教38	北関東ブロックスキー技術員研修会	2025年 12月 6日 (土) ～7日(日)		18	－	鹿沢スノーエリア
2	－	北関東ブロックスキー学校主任教師研修会	2025年 12月 6日 (土) ～7日(日)		3	－	鹿沢スノーエリア
3	教40	北関東ブロックスノーボード技術員研修会	2025年 12月 6日 (土) ～7日(日)		2	－	鹿沢スノーエリア
4	教39	スキーパトロール技術員研修会(北関東ブロック他)	2025年 12月 6日 (土) ～7日(日)		1	－	ピラタス蓼科スノーリゾート
5	教34	北関東スキー技術選手権大会	2026年 1月 23日 (金) ～25日(日)		30	－	鹿沢スノーエリア
6	教36	北関東スノーボード技術選手権大会	2026年 1月 31日 (土) ～1日(日)		4	－	鹿沢スノーエリア
◇全日本関係					本連盟関係		
1	－	スキー・スノーボード・スキーパトロール中央研修会	2025年 11月 27日 (木) ～30日(日)		5	－	札幌国際スキー場
2	－	第6回全日本マスターズスキー技術選手権大会	2026年 1月 30日 (金) ～1日(日)		－	－	白馬岩岳スノーフィールド
3	－	スキー指導員検定会	2026年 2月 21日 (土) ～22日(日)		4	1	赤倉観光リゾート、蔵王ライザワールド他
4	－	スキーA級検定員検定会	2026年 2月 21日 (土) ～22日(日)		1	1	赤倉観光リゾート、蔵王ライザワールド他
5	－	スノーボード指導員検定会	2026年 2月 21日 (土) ～22日(日)		3	0	赤倉観光リゾート他
6	－	スノーボードA級検定員検定会	2026年 2月 21日 (土) ～22日(日)		2	2	赤倉観光リゾート他
7	－	スキーパトロール検定会	2026年 2月 21日 (土) ～22日(日)		1	0	飛騨ほうのき平
8	教37	第23回全日本スノーボード技術選手権大会	2026年 2月 26日 (木) ～1日(日)		4	－	鹿沢スノーエリア
9	教35	第63回全日本スキー技術選手権大会	2026年 3月 4日 (水) ～8日(日)		7	－	田沢湖スキー場
10	－	第10回全日本ｼﾞｭﾆｱｽｷｰ技術選手権大会	2026年 3月 20日 (金) ～22日(日)		－	－	菅平高原スキー場

３ 教育本部関係

2026年度 教育本部事業報告

栃木県スキー連盟教育本部会議

１． 主　　催　栃木県スキー連盟
２． 期　　日　２０２５年１１月８日（土）
３． 会　　場　パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
４． 責 任 者　篠原　浩
５． 担 当 理 事　分田久貴
６． 参 加 者　本部長，理事，専門委員，技術員，部員　総数５４名
７． 概　　要　2026 シーズンの各行事の進め方及び調整事項、決算方法の確認を行った。シーズン直前の打合せ会議となり、充実した内容の会議ができた。特に、シクミネットでの手続きや予算の執行、事業報告書の提出方法等について確認ができたことは有意義であった。
　また、理事会議に引き続き、ＳＡＪスキー・スノボード・スキーパトロール技術員及びＳＡＴ技術員、教育本部員を加えての全体会議を行った。内容は、理事会議で提案された内容を、現場サイドからの意見を取り入れより充実した行事となるための打合せ会議を行った。シーズン直前に打合せができ、より内容の濃い議論ができた。

SAJスキー技術員及びSAT技術員会議

１． 主　　催　栃木県スキー連盟
２． 期　　日　２０２５年１２月１３日（土）・１４日（日）
３． 会　　場　ハンターマウンテン塩原
４． 講　　師　斎藤貴次、川口　悟
５． 参 加 者　専門委員２名，SAJ 教育本部スキー技術員・SAT 技術員２４名
６． 概　　要　今シーズンのテーマは昨年から引き続き『一貫性のある指導の展開』ということで SAJ､SAT ともに入れ替えがあったこともあり１日目はプルークボーゲンの制動と推進の表現の仕方などを集中して行った。2 日目は雨予報のため１時間スタートを遅らせた。1 日目の復習とベーシックパラレルへの展開３種目の理解を深めた。最後に次週の研修会で担当する種目のデモンストレーションを行った。

SAJ指導者研修会講師研修

１． 主　　催　栃木県スキー連盟
２． 期　　日　２０２６年1月６日（火）〔中止〕
３． 会　　場　エーデルワイススキーリゾート

４．　役　　員　齋藤貴次

５．　概　　要　指導者研修会（2 次）に参加する指導者が予定数より少なく、予定していた SAJ 及び SAT 技術員で対応可能なことから本事業については中止とした。

全日本スキー連盟指導者研修会及び
公認スキー検定員クリニック（第１次）
SATスキーインストラクター（認定スキー指導員）研修会（第１次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２５年１２月２０日（土）～２１日（日）

３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原

４．　責 任 者　渡辺陽一

５．　県 連 役 員　渡辺陽一

６．　教育本部役員　篠原　浩

７．　担 当 理 事　分田久貴、齋藤敦史、大谷昌弘、網　清夫

８．　主 任 講 師　齋藤貴次、クリニック主任：齋藤貴次

９．　講　　師　川口　悟、児山将之、後藤知昭、河﨑英夫、渡辺勇太、菅原　豊、新田義之、佐藤公一、泉　悠太、岡　豊、鈴木勝治、吉田哲哉、増渕耕樹、音村保道、常磐瑛貴、冨山愛佳、荒井俊樹

10.　参 加 者　１１３名

11.　概　　要　■1 日目　天候：晴
午前：開会式、研修
午後：研修、クリニック
■2 日目　天候：晴れのち曇り
午前：雪育レッスン（ハンターマウンテンコラボ事業）
午後：研修、閉会式
■研修会について
昨年度スキー教程が刷新され、指導内容が大幅に変更となった。今回の研修テーマ「一貫性のある指導の展開」について、各自 e ラーニングで学んできたことをデモンストレーションで確認し、ポジショニング・荷重動作・エッジングの 3 つの基本動作やベーシックパラレルターンへの指導への展開を中心に演習した。短い時間の中で凝縮した研修を行うことが出来た。
■クリニックについて
2 班合同でのクリニックを行った。昨年度から指導員・準指導員の検定種目が変更となり、特に展開種目 3 種目についてジャッジの観点を学び、受講者どうしディスカッションして理解を深められた。
■雪育レッスンについて
２年目となるハンターマウンテン塩原とのコラボ事業で、初心者中心の小学生のレッスンを研修会の中で行った。受講者全員で 2 時間のレッスンを行い、子供たちを初めて指導する参加者もいるなか、初歩動作やプルークボーゲンの指導を体験し、その時の気づきや疑問点などを研修会でもディスカッションした。普段初心者を指導する機会の少ない受講者からベテランの指導者まで、今回の事業に参加させていただき有意義な体験となった。栃木県内のスキーヤーの裾野を広げ、スキーの普及発展に貢献できたと考える。

全日本スキー連盟指導者研修会及び
公認スキー検定員クリニック（第2次）
SATスキーインストラクター（認定スキー指導員）研修会（第2次）

1．　主　　催　栃木県スキー連盟
2．　期　　日　２０２６年1月８日（木）～９日（金）
3．　会　　場　エーデルワイススキーリゾート
4．　責　任　者　渡辺陽一
5．　県　連　役　員　渡辺陽一
6．　教育本部役員　篠原　浩
7．　担　当　理　事　網　清夫
8．　主　任　講　師　齋藤貴次、クリニック主任：齋藤貴次
9．　講　　師　菅原　豊、鈴木勝治、増渕耕樹
10．　参　加　者　２５名
11．　概　　要　■1日目　天候：晴のち曇り時々雪
午前：開会式、研修
午後：研修
■2日目　天候：晴れ
午前：研修
午後：クリニック、閉会式
■研修会について
昨年度スキー教程が刷新され、指導内容が大幅に変更となった。今回の研修テーマ「一貫性のある指導の展開」について、各自ｅラーニングで学んできたことをデモンストレーションで確認し、ポジショニング・荷重動作・エッジングの３つの基本動作やベーシックパラレルターンへの指導への展開を中心に演習した。限られた時間の中で凝縮した研修を行うことが出来た。
■クリニックについて
３班合同でのクリニックを行った。昨年度から指導員・準指導員の検定種目が変更となり、特に展開種目３種目についてジャッジの観点を学び、受講者どうしディスカッションして理解を深められた。

全日本スキー連盟指導者研修会及び
公認スキー検定員クリニック（第3次）
SATスキーインストラクター（認定スキー指導員）研修会（第3次）

1．　主　　催　栃木県スキー連盟
2．　期　　日　２０２６年2月１４日（土）～１５日（日）
3．　会　　場　日光湯元スキー場
4．　責　任　者　渡辺陽一
5．　県　連　役　員　小林英夫
6．　教育本部役員　篠原　浩
7．　担　当　理　事　齋藤貴次、網　清夫
8．　主　任　講　師　齋藤貴次、クリニック主任：齋藤貴次

９．　講　　師　岡　豊、音村保道、吉成　聡

10．　参　加　者　３４名

11．　概　　要

○1 日目　天候：晴
午前：開会式、研修
午後：研修
○2 日目　天候：晴
午前：研修
午後：クリニック、閉会式

■研修会について

昨年度スキー協定が刷新され、指導内容が大幅に変更となった。今回の研修テーマ「一貫性のある指導の展開」について、各自 e ラーニングで学んできたことをデモンストレーションで確認し、ポジショニング・荷重動作・エッジングの 3 つの基本動作やベーシックパラレルターンへの指導への展開を中心に演習した。限られた時間の中で凝縮した研修を行うことが出来た。

■クリニックについて

3 班合同でのクリニックを行った。本年度から指導員・準指導員の検定種目が変更となり、特に展開種目 3 種目についてジャッジの観点を学び、受講者どうしディスカッションして理解を深めた。

■宿泊について

新型コロナ感染回避のため中止していた、本部宿舎宿泊を昨年から再開した。研修会参加者 12 名の宿泊参加があった。

第63回栃木県スキー技術選手権大会
（兼全日本及び北関東大会選考会）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２６年1月１７日（土）

３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原

４．　本　　部　スキー場センターハウス２Ｆ

５．　大　会　会　長　渡辺陽一

６．　大　会　委　員　長　篠原 浩

７．　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　新井和夫

８．　技　術　代　表　齋藤貴次

９．　アシスタントＴＤ　川口　悟

９．　競　技　委　員　長　後藤知昭

10　審　　判　　長　児山将之

11．　審　　判　　員　和田友実子、渡辺勇太、飯田裕介、新田義之、佐藤公一、岡 豊、斎藤紀幸、 鈴木勝治、吉田哲哉、増渕耕樹

12．　計　算　記　録　分田久貴、荒井 始、櫻井 敦

13．　現地総務広報　芳野哲也、松本 忍、冨山英幸、泉 裕之、網 清夫、人見敏行

14．　参　加　人　数　６３名（男子 56・女子 7）

15．　概　　要　コースコンディションと参加選手の安全面などを考慮して 1 日開催となり、ウォール・FDR コースを使って 5 種目の競技となった。

天候に恵まれ、最高のゲレンデコンデショニンにより、選手各位の協力と、ハンターマウンテン塩原様には、営業状況の中一部クローズコースのご提供いただき、スムーズに大会を運営できたことに感謝申し上げ

る、年々減少している参加者の増加に期待したい。
　今シーズンは、北関東大会が 1/23～25 日の期間で鹿沢スノーエリアで開催される、栃木県からは今大会の結果から、男子２６名女子４名合計３０名が参加することとなった。
　秋田県田沢湖スキー場で開催予定の全日本技術選手権大会には、本大会及び北関東スキー技術選手権大会の上位選手の中から男女それぞれ選出される。

16. リ　ザ　ル　ト　総合成績

男子	１位	福田　司	（宇都宮）
	２位	松田　師成	（黒磯）
	３位	池上　貴一	（黒磯）
女子	１位	中澤　乃愛	（宇都宮）
	２位	神沢　照代	（宇都宮）
	３位	糸井　千順	（おおひら）

第18回オープンスプリングスキー技術選手権大会
2026ジュニアスキー技術選手権大会
第15回学童スキー技術選手権大会
2026オープンマスターズ技術選手権大会

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２６年3月１５日（日）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．本　　部　スキー場センターハウス２F
５．大会会長　渡辺陽一
７．大会委員長　篠原　浩
８．ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　新井和夫
９．技術代表　川口　悟
10. アシスタント TD　齋藤貴次
11. 競技委員長　後藤知昭
12　審判長　児山将之
13. 審判員　和田友実子、河﨑英夫、新田義之、佐藤公一、泉 悠太、岡 豊、鈴木勝治、吉田哲也、音村保道
17. 計算記録　分田久貴、櫻井 敦、齋藤 剛
18. 現地総務広報　芳野哲也、冨山英幸、泉 裕之、網 清夫、人見俊行
19. 参加人数　５９名
20. 概　　要　本大会は申込者５９名となった。
　天気は曇り時々晴れ、コースコンディションは良好により、怪我人・事故も起こらず滞りなく実施できた。
　また、各クラスの参加者を募集したが、マスターズ女子A・C、ジュニア女子、学童女子の申し込みがなかった。
21. リ　ザ　ル　ト　スプリング技術選手権　男子１位　福田　司（宇都宮）
　女子１位　冨山愛佳（宇都宮）
　ジュニア技術選手権　男子１位　山田裕斗（日々輝学園）
　学童技術選手権　男子１位　藤田悠翔（大山小）

ｵｰﾌﾟﾝﾏｽﾀｰｽﾞ技術選手権	男子Ｄクラス１位	福田　純　（栃木県）
	男子Ｃクラス１位	松田文平　（茨城県）
	男子Ｂクラス１位	堀内健一　（栃木県）
	男子Ａクラス１位	福永篤史　（長野県）
	女子Ｂクラス１位	松田泰子　（栃木県）
	女子Ｂクラス１位	相田奈保　（栃木県）

指導員･準指導員受検者養成講習会（A）

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１１月１６日（日）
３．会　　場　パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
４．責 任 者　篠原　浩
５．担当理事　松本　忍
６．講　　師　分田久貴、和田友実子、渡辺勇太、菅原　豊、小澤大介、吉田哲也
７．参加人数　２３名
８．日　　程　１，開会（9：45）
２，挨拶…篠原教育本部長
３，スタッフ・講師紹介
４，講習Ⅰ
①　受検者自己紹介
②　受検に向けて…分田副本部長、松本委員長
③　指導員に合格して…2025 年度合格者　吉田技術員（受検経験者からのアドバイス）
④　理論講習…「前年度検定動画と共にポイント説明」渡辺技術員
５，講習Ⅱ
⑤　理論講習
・和田技術員…スキー教程のプルークボーゲン・ベーシックパラレルターンへの指導の展開について
・菅原技術員…ダイナミックパラレルターンへの指導の展開
・小澤技術員…ハンドブックについて
⑥　受検資格別グループデスカッション
・指導員班…和田・吉田技術員
・準指導員班…渡辺・菅原・小澤技術員

９．概　　要　開会後、篠原本部長から受検に当たっての心構えと激励の言葉をいただき、スタッフの自己紹介の後に、受講者それぞれから抱負を含め自己紹介を得た。

午前の講習では、前年度検定動画でのポイントについて渡辺技術員が説明した。受検にあたり事務手続き等については、分田副本部長、松本委員長が説明し、その後、受検経験談として、2025 年度の合格者である吉田技術員からアドバイスを得た。

午後の講習では、･和田、菅原、小澤技術員から、それぞれの担当項目について、経験談を交えポイントを説明した。その後、受検資格別に分かれグループデスカッションとし、受検に当たっての疑問点など共有し確認した。最後に今回の受検にあたり「指導者になるにあたっての抱負・指導者像について」レポートの提出をいただいた。

受講者においては、真剣な眼差しで受講され、積極的に意見を述べるなどお互いに受検に向け意識を高め、共に全員が合格する意気込みであ

った。

準指導員受検者養成講習会(B)

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１２月１３日（土）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担当理事　松本　忍
５．講　　師　矢板　拳
６．参加人数　１７名
７．日　　程　１　開　会（9：00）
　　２　あいさつ　　松本理事
　　３　役員自己紹介　松本理事、矢板 SAJ 技術員
　　４　講　習　　講師：矢板 SAJ 技術員
　　AM　理論
　　PM　実技
　　５　閉　会（15：30）
８．概　　要　午前中は矢板技術員より、２階会議室にて、テキスト「日本スキー教程安全編」を用いてスキー場での危険性や事故が起きた際の対処法について理論講習を行った。さらに、三角巾を用いた応急処置の方法についての実習を行った。
午後はゲレンデにて、講習行なう際の安全面での配慮事項をはじめ、実践的な講習を行った。
実践的講習は、3 班に分け、昨年は同行者が左肱と左膝を負傷してしまい、現場はパトロールを呼べない状況にあり、同行者がゲレンデ下部まで搬送しなくてはならないことを想定し行われた。今年度は転倒による腕の怪我を想定し、自力で滑走できるものの腕の固定が必要とする内容で実施した。救助方法と救急の重みを体験により実感され、有意義な講習となった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C－1)

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１２月２７日（土）・２８（日）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担当理事　松本　忍
５．講　　師　渡辺勇太、和田友実子、小澤大介、吉田哲也
６．参加人数　２３名
７．日　　程　第１日目
　　１　開　会（８：４５）
　　２　あいさつ
　　３　スタッフ紹介
　　４　講　習
　　５　講習終了（１５：３０）
　　第２日目
　　１　講習開始（８：４５）
　　２　講　習

３　講習終了
４　閉会式（１５：３０）

８．概　　要　指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第１回目として、日帰り２日間の行程で行った。指導員受検者及び準指導員受検者全員で実施した。
第１日目朝から晴天に恵まれ午前中は全員で、基本ポジションの確認を実施した。午後はプルークボーゲンから展開へと解説を加えながら受検者への理解を図った。
第２日目も晴天に恵まれ、前日同様、基本ポジショニングからスタートし各種目につながる動作の確認を行いながら一人一人に対応した密度の濃い講習を行った。
シーズン初めにしては十分な積雪があり、雪質もよく充実した内容の講習会となった。ただし年末での開催となり一般来場者数も多かったことから衝突等の安全面に注意しながらの講習となった。次回の講習会に向けて受検者が課題意識をもって練習に取組むためのきっかけ作りになった。

指導員･準指導員受検者養成講習会（Ｃ－２）

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２６年1月１０日（土）・１１日（日）
３．会　　場　会津高原だいくらスキー場
４．担当理事　松本　忍
５．講　　師　和田友美子、飯田裕介、菅原　豊、吉田哲也
６．参加人数　２３名
７．日　　程　第１日目
１　開　会（８：４５）
２　あいさつ
３　スタッフ紹介
４　講　習
５　講習終了（１５：３０）
第２日目
１　講習開始（８：４５）
２　講　習
３　講習終了
４　閉会式（１５：３０）

８．概　　要　指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第２回目として、だいくらスキー場にて２日間の行程で行った。茨城県連も同じく受検者養成講習が開催された。
第１日目　晴天　午前中は全員で､基本ポジションの確認を実施した。午後は 2 班に分かれて、基礎種目及び実践種目を織り交ぜながら講習を行い、解説を加えながら受検者への理解を図った。
夜もミーティングを実施した。指導員班と準指導員班に分かれ昼間撮影した動画を見ながらきめ細かい解説を行い、理解を深めた。1 時間の予定であったが結局 2 時間の熱いミーティングとなった。
第２日目　雪　朝一から受検者全員でコブの作成を実施した。その間に技術員で検定バーンの設定を行った。その後、指導員 1 班と準指導員 3 班に分かれて、種目ごとに確認を行いながら一人一人に対応した密度の濃い講習を行った。反省点は指導員の１名が緩いコブ斜面で膝を痛めてしまった。受検者には開会式の時に「何かあれば個別に相談してください」との連絡をしていたが、今後は各班の講習前に再度確認を行って

から進めることとした。
　次回の講習会に向けて受検者が課題意識をもって練習に取組むためのきっかけ作りになった。

指導員･準指導員受検者養成講習会（C－3）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年2月１４日（土）・１５日（日）
３．　会　　場　会津高原だいくらスキー場
４．　担　当　理　事　松本　忍
５．　講　　師　渡辺勇太、和田友実子、飯田裕介、菅原　豊
６．　参　加　人　数　１９名
７．　日　　程　第１日目
　１　開　会（８：４５）
　２　あいさつ
　３　スタッフ紹介
　４　講　習
　５　講習終了（１５：３０）
第２日目
　１　講習開始（８：４５）
　２　講　習
　３　講習終了
　４　閉会式（１５：３０）
８．　概　　要　指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第３回目として、だいくらスキー場にて２日間の行程で行った。
　第１日目　晴れ　午前中は指導員班菅原技術員、準指導員班３班、渡辺、和田、飯田技術員が担当し基礎種目を中心に確認を実施した。午後は展開種目及び実践種目を織り交ぜながら講習を行い撮影した動画を確認しながら受検者への理解を図った。
　夜のミーティングは指導員班と準指導員班合同で昼間撮影した動画を見ながらきめ細かい解説を行い、理解を深めた。1 時間の予定であったが結局 2 時間の熱いミーティングとなった。
　第２日目　晴天　朝一から受検者全員でコブの作成を実施し、検定形式で、検定員 3 名で各種目を実施した。検定本番の緊張感を持って滑走できたことは受検者にとって検定に繋げられる良い経験であった。

第70回　準指導員検定会

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年2月２８日（土）　予備日１日（日）
３．　会　　場　会津高原だいくらスキー場
４．　県　連　役　員　渡辺陽一
５．　責　　任　　者　篠原　浩
６．　担　当　理　事　松本　忍、泉　裕之、齋藤敦史
７．　主任検定員　渡辺勇太
８．　検　　定　　員　和田友実子､飯田祐介､小澤大介、泉　悠太

９．　受　検　者　数　１９名（男性１７名、女性２名）

10.　合　格　者　数　１５名（男性１４名、女性１名）　合格率 78.9％

11.　概　　要　　時折、小雨の降る生憎の天候の中での検定会となった。
開会式終了後直ちに、理論検定を実施、終了後昼食、受検者のウォームアップ等を経て予定開始時刻を前倒しして実技検定を実施した。
今回より初めての一日開催となり、不安要因も多々あったが、スケジュールの前倒し等を行い無事終了となった。

SATスキーインストラクター養成講習及び検定会（第1次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２５年１２月２０日（土）～２１日（日）

３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原

４．　担　当　理　事　泉　裕之

５．　講師・検定員　新井和夫、泉　裕之、吉成　聡

６．　参　加　人　数　　４名（男性４名，女性０名）

７．　合　格　者　数　　４名（男性４名、女性０名）　合格率１００％

８．　概　　要　　季節外れの暖かさの中での開催となった。
１日目は午前に安全講習並びに理論講習を実施し、午後から実技講習を実施。
２日目は午前に前日に引き続き実技講習、午後から実技検定を実施した。吉成技術員の実地指導に即した講習により、受検者４名とても優秀な成績で、晴れて合格となった。

SATスキーインストラクター養成講習及び検定会（第2次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２６年1月８日（木）～９日（金）

３．　会　　場　エーデルワイススキーリゾート

４．　担　当　理　事　泉　裕之

５．　講師・検定員　吉成　聡、泉　裕之

６．　参　加　人　数　　１名（男性１名，女性０名）

７．　合　格　者　数　　１名（男性１名、女性０名）　合格率１００％

８．　概　　要　初めてエーデルワイススキーリゾートでの開催となった本事業は、１日目の午後こそ降雪に見舞われたが、素晴らしいコンディションの下実施された。
受検者１名でマンツーマンでの中身の濃い講習となり、受検者も理解を深め、２日目午後の検定会においてもその講習が功を奏し、晴れて合格となった。

公認スキー検定員（B･C級）検定会

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２６年3月２２日（土）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　県　連　役　員　渡辺陽一
５．　責　　任　　者　篠原　浩
６．　担　当　理　事　泉　裕之
７．　主　任　検　定　員　和田友実子
８．　検　　定　　員　飯田佑介、佐藤公一
９．　現　地　総　務　泉　裕之
10．　受　検　者　数　１４名（B級　２名，C級　１２名）
11．　合　格　者　数　１４名（B級　２名　合格率１００%，C級１２名　合格率１００%）
12．　概　　要　例年と同じく、テクニカルプライズテスト受検者を採点サンプルとして実施。午前中に理論試験を実施して、午後からプライズ検定で実際の受検者の滑りを評価した。理論、実技共に非常に優秀な成績で、全員合格となった。

プライズテスト（第1回）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年2月７日（土）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　担　当　理　事　泉　裕之、松本　忍
５．　現　地　総　務　橋本晃輔
６．　主　任　検　定　員　河﨑英夫
７．　検　　定　　員　新田義之、佐藤公一、泉　悠太、岡　豊、齋藤敦史、荒井俊樹
８．　受　　検　　者　２６名〔内訳〕クラウン　　９名（男子　８名、女子１名）
　　テクニカル１７名（男子１６名、女子１名）
９．　合　　格　　者　　１名〔内訳〕クラウン　　０名（男子　０名、女子０名）
　　テクニカル　１名（男子　１名、女子０名）
10．　概　　要　寒波到来により、小雪がちらつき風も強い中実施された検定会となった。前日までの暖かさにより、緩んだ雪が硬く締まり、受検者は苦戦を強いられた。特に、不整地バーンはボトムに青氷が露呈し、状況を見て検定をキャンセルする受検者が５名ほどあった。
　クラウンでは事前講習のみ３名、途中棄権１名、テクニカルでは事前講習のみ１名いた。
結果、テクニカル合格者１名のみとなったが、事前講習、検定会含めて大きな事故もなく終了した。

プライズテスト（第2回）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年2月１１日（水）祝日
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　担　当　理　事　泉　裕之、松本　忍
５．　現　地　総　務　人見俊行

６．　主任検定員　岡　豊

７．　検定員　吉成　聡、鈴木勝治、増渕耕樹、音村保道、矢板　拳、漆原徳馬、齋藤敦史、冨川愛佳

８．　受検者　４５名〔内訳〕クラウン　１３名（男子１３名、女子０名）
テクニカル３２名（男子２６名、女子６名）

９．　合格者　１２名〔内訳〕クラウン　３名（男子　３名、女子０名）
テクニカル　９名（男子　７名、女子２名）

10．　概要　前回よりも温暖で、雪質も良い好コンディションの中での開催となった。水曜日の祝日開催となり、受検者減の恐れがあったが、45 名の参加者があった。
午前中の事前講習、検定会とも大きなトラブルもなく無事終了した。特にハンターマウンテンパトロールの協力により、検定開始時間を午後 12:30 としたことがスムーズな運営につながった。
今回、受検者のレベルが近年の検定会と比して高く、結果、クラウン 3 名、テクニカル 9 名の合格者となった。

プライズテスト（第3回）

１．　主催　栃木県スキー連盟

２．　期日　２０２６年3月１日（土）

３．　会場　ハンターマウンテン塩原

４．　担当理事　橋本晃輔、網　清夫、人見俊行

５．　現地役員　橋本晃輔、網　清夫、人見俊行

６．　主任検定員　新田義之

７．　検定員　河﨑英夫、菅原　豊、岡　豊、吉成　聡、鈴木勝治、増渕耕樹、音村保道、齋藤敦史、常盤瑛貴

８．　受検者　４１名〔内訳〕クラウン　１７名（男子１７名、女子０名）
テクニカル２４名（男子２０名、女子４名）

９．　合格者　６名〔内訳〕クラウン　５名（男子　５名、女子０名）
テクニカル　１名（男子　１名、女子０名）

10．　概要　事前講習では、受検者合計 50 名未満であったので、1 班編制で実施し、新田主任検定員から挨拶および検定と事前講習の説明を行った。事前講習は前回同様、回しトレーニング形式で行った。技術員によるデモンストレーション滑走を行い受検者にジャッジの観点を説明した。その後、回しトレーニングで各種目 2 本ずつ講習を行った。受検者 1 名ずつ滑走し、技術員がアドバイスすることで確実な講習を行いつつ効率のいい方法で実施した。また、不整地のバーンは、１コースのみであったため、一般客に注意しながら、安全第一で実施した。
検定会では、クラウン受検者 1 名がストックによるけがにより辞退した。不整地小回り以外の種目はコースをセパレートして実施し、各種目前走 2 名ずつ（クラウン 1 名、テクニカル 1 名）行った。不整地小回りは、セパレートをしなかったが一般客の合流も無く検定できた。ゴール付近から検定員までは十分な距離を置き、観客はさらに後ろで見学してもらうことで安全に細心の注意を払った。衝突等けがも発生しなかった。

プライズテスト（第4回）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年3月２２日（土）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　担当理事　齋藤敦史、大谷昌弘、人見俊行
５．　主任検定員　河﨑英夫
６．　検定員　後藤知昭、新田義之、小澤大介、泉　悠太、吉成　聡、中澤乃愛、福田司、荒井俊樹
７．　受検者　６０名〔内訳〕クラウン　２７名（男子２６名、女子１名）
テクニカル３３名（男子３２名、女子１名）
８．　合格者　３名〔内訳〕クラウン　２名（男子　２名、女子０名）
テクニカル　１名（男子　１名、女子０名）
９．　概　　要　天候に恵まれ絶好の検定日和だった。
気温が上がり検定時はバーンが緩んだが、各受検者果敢に挑戦し合格者が出た。
受検者 60 名で、2 班体制で検定を行った。事前に主任検定員による綿密な計画のおかげで、スタッフと受検者は迷うことなく進行できたため、予定よりとても早く検定を終えることが出来た。もちろん事故怪我等も無かった。2 班体制であれば更に人数が増えても対応できることが改めて分かった（総合滑降のみ難易度が若干下がるが…）。
スキー場、パトロール、スクールの多大な協力により、担当役員が一致団結して素晴らしい検定会を行うことができた。

教育関係職員及び学校教職員スノースポーツ講習会

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　後　　援　栃木県教育委員会
３．　期　　日　２０２６年1月３１日（土）～１日（日）
４．　会　　場　会津高原たかつえスキー場
５．　本部宿舎　会津アストリアロッジ
６．　県連役員　－
７．　担当理事　橋本晃輔
８．　責任者　篠原　浩
９．　講　　師　《スキー》佐藤公一，藤田健司、伊藤秀哲、山中武史、吉羽敏昭
《スノーボード》長島俊明、田中康裕
10．　参加人数　１４名
11．　概　　要　【日程】

１日目	8：30	～	9：30	受付、講師・事務局打合せ、開講式
	9：30	～	11：30	班別講習
	12：45	～	15：30	班別講習
	19：00	～	21：00	懇親会（動画ミーティング）
２日目	9：00	～	11：00	班別講習

11：15　～　12：30　　検定会（SB のみ）
13：30　～　14：45　　班別講習
15：00　～　　合格発表・事務手続き

【概要】

・常連の参加者がほとんどで、毎年楽しみにしているとの声が多い。しかし、例年２０名以上の参加者があるところ、今回は、１４名に留まった。参加者を増やす方策を SS 委員会と連携して検討していく必要がある。
・技術レベルの差が大きいため、スキー４班、スノーボード２班に分かれて講習を行った。
・１日目は、班ごとにそれぞれのレベルに合わせて、時間いっぱいまで密度の濃い講習を行った。夜のビデオミーティング・懇親会は、講習中に撮影した動画視聴をもとに技術論を交わすなど親睦を深めた。なお、撮影動画は、ユーチューブを通して受講生のみが視聴できるようにしている。（期間限定）
・２日目は、スノーボード班のみ検定を実施した。受検者は自身の最高の滑りをしていた。スキー班は、終日講習を実施し、技術を高めていた。
・スノーボード検定の合格者数は以下の通り
　スノーボード：２級　３名

SAJ公認パトロール受検者養成講習会（A日程）

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１２月２６日（金）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担 当 理 事　新井和夫
５．講　　師　新井和夫、矢板　拳
６．参 加 者　２名
７．概　　要　日程
　午前　スノーボード実技種目（基礎種目、搬送種目）
　午後　理論、ロープ操法、救急法（三角巾）

概要

　今年度は新たにスノーボートパトロール公認検定に合わせたように、栃木１名、茨城１名

　Ａ日程ではスノーボード技術員にも参加してもらい技術の伝達を行いました。ただし技術員も受検者も初めて経験することで、検定種目の理解と要領の講習となりました。搬送種目については初歩から技術習得でカラボート（人を乗せない）での講習を行いました。受検者には B 講習までに技術の習得に奔走することを伝授しました。

SAJ公認パトロール受検者養成講習会（B日程）

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２６年2月４日（水）～５日（木）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担 当 理 事　新井和夫
５．講　　師　新井和夫、矢板　拳、今井盛夫
６．参 加 者　２名

7．　概　　要　日　程

１日目

午前　スノーボード実技種目（基礎種目、搬送種目）

午後　理論、ロープ操法、救急法（三角巾）

２日目

午前　スノーボード実技種目（基礎種目、搬送種目）

午後　理論、ロープ操法、救急法（三角巾）

概　要

B講習の１日目は検定会に備えて各種目の実戦的な講習を行いました。2 日目は午前にスノーボード実技の講習内検定の実施。午後はロープ操法、救急法の講習内検定を行いました。結果は合格基準に足したので、養成講習会修了書を交付しました。検定会までに更なるスキルアップが必要なことを伝授しました。

SAJ 公認パトロール研修会

１．　主　　催　全日本スキー連盟

２．　主　　管　栃木県スキー連盟

３．　期　　日　２０２６年2月１２日（木）

４．　会　　場　ハンターマウンテン塩原

５．　参加資格　ＳＡＪ公認パトロール

６．　責任者　渡辺陽一

７．　県連役員　篠原　浩

８．　会場責任者　新井和夫

９．　担当理事　新井和夫

10．　主任講師　新井和夫

11．　講　　師　矢板　拳

12．　参　　加　者　４名

13．　概　　要　日程

1 日目

08：30～	開会式	
09：00～12：00	実技研修	今年度研修課題 検定種目の確認 ボート搬送（ロープボート）
12：00～13：00	昼食	
13：00～14：00	実技研修	ロープ、三角巾
14：00～16：00		コース外の高度外傷重症事故救助訓練
16：00～18：00	理論研修	e ラーニング、動画視聴

概要

今年度の研修は、基本技術の差異確認と実線的な救助能力の向上に重点を置きました。研修課題の横滑りでは、左右にブレの少ないピポットターンの要領で研鑽した。ロープボート搬送ではアキヤボートより繊細な技術の必要性を感じてもらいました。コース外の高度外傷事故訓練では、劣悪な環境下での迅速な判断とチーム連携の重要性を研鑽しました。

またｅラーニングによる基礎的な情報も修得きました。

本県週で得た救急・救助技術を、今後のパトロール活動に活かせる様に自己研鑽に努めてほしい。

選手強化合宿（1次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２５年１２月２４日（木）～２５日（金）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　コ　ー　チ　齋藤貴次、鈴木幸展、斎藤紀幸
５．　参加人数　６名
６．　概　　要　外部講師の齋藤圭哉選手を中心に基本ポジションの確認から始まり実践までのトレーニングをおこなった。1 日目は雨天によりコンディションは悪かったが、低速を中心に基本の確認ができた。2 日目天候も回復し、中速～高速～実践トレーニングをおこなった。ビデオを活用し１本ずつ滑りを確認しながらトレーニングをおこなった。

選手強化合宿（2次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年1月１２日（月・祝日）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　コ　ー　チ　鈴木幸展、泉　悠太、斎藤紀幸
５．　参加人数　８名
６．　概　　要　県技術スキー選手権で使用するコートでの各種目トレーニングをおこなった。午後は強風により第３リフトが停止しため、バーンを変更しニューマジソンコースでショートターントレーニングをおこなった。

選手強化合宿（3次）

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年3月２日（月）～４日（水）
３．　会　　場　田沢湖スキー場
４．　コ　ー　チ　鈴木幸展、小澤大介、泉　悠太、斎藤紀幸
５．　参加人数　４名
６．　概　　要　3/1 に現地入りし、合宿の運営に関してミーティングを行った。
3/2 は天候に恵まれ、春のような陽気の中でのトレーニングとなった。大会使用バーンの黒森山ゲレンデ、国体コースを使って、バーンの特徴（地形やうねり）、雪質に感覚を合わせながら各々が調整できた良いトレーニングになった。特に国体コースはウェーブが 2 つ設定され、フリー種目の演技構成と合わせながら、攻略案をスタッフ側と選手側とディスカッションしイメージを膨らませた。
3/3 は 2/20 頃に急に設定された、トレーニングＤＡＹだったため、時間規制がされた中、各コートで積極的にトレーニングを行った。続々と各都道府県の選手も集まり、ビブ着用が義務だったため公式練習さながらの雰囲気の中で有意義なトレーニングとなった。

2026 SAJ 北関東スキー技術選手権大会

１．　ブロック構成　埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県
２．　期　　日　２０２６年1月２３（金）～２５日（日）
３．　会　　場　群馬県　鹿沢スノーエリア
４．　本部役員　齋藤貴次、川口　悟
５．　審判員　和田友実子、佐藤公一、吉田哲哉
６．　本県役員　篠原　浩
７．　監督コーチ　鈴木幸展、小澤大介、泉悠太、斎藤紀幸
８．　参加人数　３０名
９．　概　　要　○1/23(金)　前日練習日（参加者：20 名）
・出場選手合同でトレーニングを行い、使用コートの斜面状態や雪質、コース戦略等を確認し、最終調整を行った。
・晴天率の高い鹿沢スノーエリアは積雪量が少なく、人工降雪による硬めの雪質であり、スピードが出やすいシチュエーションであった。
○1/24(土)　大会１日目
・少々の降雪により、雪面が見えづらい状況で４種目の競技を行った。本県選手は、それぞれの目標を達成すべく、最大限のパフォーマを発揮し、思い切り良く演技していたが、速い捉えと強いエッジングによりスキーのたわみを引き出している選手に高得点が出ていた。
○1/25(日)　大会２日目
・前日夜からの降雪が競技終了まで続き、普段の鹿沢スノーエリアではありえないソフトパックのバーン状況となり、タッチに苦戦する選手が続出したが本県代表選手はその中でもセンターポジションをキープし、安定感のある滑りで 2 種目を滑りきることができた。ただ、中回り種目で動き、ターンサイズを合わせることのできない選手も多く、課題の残る種目となった。
・最終成績は、男子４位・５位と２名が入賞、女子は３位の１名が入賞となった。
【成績：北関東】
男子　４位　福田　司：宇都宮
５位　松田師成：黒　磯
女子　３位　中澤乃愛：宇都宮

栃木県スキー連盟スノーボード部員会議

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２５年１２月１３日（土）
３．　会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．　担当理事　泉　裕之、大谷昌弘
５．　講　　師　長嶋俊明
６．　参加者　４名
７．　概　　要　新体制のもと、今シーズンの事業計画、事業の進め方等について協議、確認を行った。
雪上での確認においては、天候にも恵まれ、シーズン初めの良好な雪質のもと技術要素等の確認を行った。
特に次週開催する指導者研修会について、講師から受講者への技術的

な伝達要素の共有に重点を置き、参加者相互に確認することによって理解が深まった。

全日本スキー連盟スノーボード指導者研修会（資格移行講習含む）及び公認スノーボード検定員クリニック

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１２月２１日(日)
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担当理事　大谷昌弘
５．主任講師　長嶋俊明
６．講　　師　新井和夫、今井盛夫、髙橋深雪、小谷野洋道、小島弥生
７．参加人数　１１名
８．概　　要　午前中については、新井専門委員の安全講習や今井技術員による今シーズンのテーマ等の周知理解など、検定員クリニックを含め座学による研修を進めた。
プロジェクターを活用した映像研修であるため受講者にも分かりやすく、指導現場を想定した理解も深まった。
雪上では、暖かい天候により緩んだ雪質の中実技が行われたが、メトロノームを活用したリズム変化をなど、様々なシチュエーションを想定した講習内容を取入れ、受講者には有意義な講習になった。
【参加者内訳】
・指導者研修会　　１０名
・検定員クリニック　６名（うちクリニックの受講のみ１名）
・資格移行　　なし

スノーボード指導員受検者養成講習会

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２５年１２月２８日（日）
３．会　　場　ハンターマウンテン塩原
４．担当理事　泉　裕之
５．講　　師　長嶋俊明、今井盛夫、高橋深雪
６．参加人数　４名
７．概　　要　晴天に恵まれ、すばらしいコンディションでの開催となった。主任講師として長嶋専門委員を迎え、今井、高橋両技術員を加え３名体制で実施し、受検者には大変手厚い講習が実施できた。冒頭の１時間を理論講習に充て、以降昼食を挟み３：３０分まで、実技講習を実施した。４名の受検者全員が理解を深めることができた。

スノーボード準指導員受検者養成講習会

１．主　　催　栃木県スキー連盟
２．期　　日　２０２６年2月１４日（土）～１５日（日）
３．会　　場　会津高原　だいくらスキー場
４．担当理事　大谷昌弘

５．　講　　師　―
６．　参　加　人　数　栃木県０名　茨城県０名
７．　概　　要　栃木県及び茨城県での準指導員受検者がいないことから事業中止とした。

第24回 スノーボード準指導員検定会

１．　主　　催　栃木県スキー連盟
２．　期　　日　２０２６年3月７日（土）　予備日８日（日）
３．　会　　場　会津高原　だいくらスキー場
４．　県　連　役　員　吉原浩之
５．　責　　任　　者　篠原　浩
６．　担　当　理　事　大谷昌弘、飯村理事（茨城県）
７．　現　地　総　務　橋本晃輔
８．　主　任　検　定　員　根本（茨城県）
９．　検　　定　　員　長谷川 SB 委員会委員、浜口技術員（埼玉県）：新田 SB 委員会委員(群馬県)
10．　参　加　人　数　栃木県０名、茨城県０名、埼玉県２名、群馬県１名
11．　合　格　者　数　栃木県０名、茨城県０名、埼玉県２名、群馬県１名（合格率：100%）
12．　概　　要　会場　団体専用休憩所

日程　８：００～８：３０　受付：団体専用休憩所
８：４５～　役員ミーティング：団体専用休憩所
９：００～　開会式：団体専用休憩所
１０：００～１１：３０　理論検定：団体専用休憩所
１１：００～１２：００　昼食
１２：００～１３：００　実技検定：中央ゲレンデ
１４：００～　閉会式（合格発表、諸手続き）：団体専用休憩所

今年度から、北関東ブロック４県での合同開催となり、今年度は、本県連が主催者代表を務めた。検定会の時間帯は晴天。雪質は春雪であり、ゲレンデコンディションはあまり良い状況ではなかった。

本県連からの受検者は、残念ながら０名であった。結果としては、養成講習等の日頃の鍛錬が実を結び、受検者３名全員が合格となった。

今回の総務は本県連ではあったが、検定会全体を通して、茨城県連の飯村理事に進行やスキー場との事前調整など、全体的な取りまとめを行っていただいた。

公認スノーボード検定員（Ｂ・Ｃ級）検定会

１．　期　　日　２０２６年3月８日（日）
２．　会　　場　会津高原だいくらスキー場
３．　担　当　理　事　橋本晃輔
４．　主　任　検　定　員　今井盛夫
５．　検　　定　　員　飯村理事（茨城県）、根本技術員（茨城県）、浜口技術員（埼玉県）
新田 SB 委員会委員（群馬県）

６．　参　加　人　数　Ｂ級２名、Ｃ級６、計８名

７．　合　格　者　数　Ｂ級２名、Ｃ級６、計８名（合格率１００％）

８．　概　　要　　会場　団体専用休憩所

日程　８：００～８：３０　受付：団体専用休憩所
８：４５～　役員ミーティング：団体専用休憩所
９：００～　開会式：団体専用休憩所
１０：００～１１：３０　理論検定：団体専用休憩所
１１：００～１２：００　昼食
１２：００～１３：００　実技検定：中央ゲレンデ
１４：００～　閉会式（合格発表、諸手続き）：団体専用休憩所

今年度から、北関東ブロック４県での合同開催となり、今年度は、本県連が主催者代表を務めた。天気は終始降雪で、実技検定の時間帯は晴天。雪質は春雪であり、ゲレンデコンディションはあまり良い状況ではなかった。

本県連所属の受検者は残念ながらいなかったが、Ｂ級２名、Ｃ級６名の計８名での実施となった。

実技検定では、各県連からの演技者６名の協力のもと、駒止ゲレンデで実施した。結果としては、理論、実技ともに受検者全員高い意識をもって受検に臨んでおり、全員が合格となった。

今回の総務は本県連であったが、検定会全体を通して、茨城県連の飯村理事に進行やスキー場との事前調整など、全体的な取りまとめを行っていただいた。

北関東スノーボード技術選　強化練習会

１．　主　　催　栃木県スキー連盟

２．　期　　日　２０２６年1月３１日（土）

３．　会　　場　鹿沢スノーエリア

４．　担　当　理　事　大谷昌弘

５．　コ　ー　チ　今井盛夫、高橋深雪

６．　参　加　人　数　４名

７．　概　　要　今年は、北関東技術選について計 4 名のエントリーと少人数になったが、選手は、技術員の的確な助言のもと翌日の技術選にあたりゲレンデの雪質や滑走感覚の確認、滑りのチェックを行った。

天候は良好で気温も低く、バーンも締まり、絶好の滑走コンディションのもとで行われ、選手には有意義な事前練習となった。

第21回北関東スノーボード技術選手権大会
兼　第23回栃木県スノーボード技術選手権大会
（第23回全日本スノーボード技術選手権大会選考会）

１．　期　　日　２０２６年1月３１日（土）～1日（日）

２．　会　　場　鹿沢スノーエリア

３．　県　連　役　員　大谷昌弘

４．　本　部　役　員　今井盛夫、髙橋深雪

５．　参　加　人　数　４名

６．　概　　要　栃木県として大会エントリーが総勢４名と少人数となってしまったが、選手は、栃木県代表としての自覚を持って大会に望んだ。

降雪もなく天候にも恵まれたが、連日の冷え込みから固く締まったバーン状況となり、選手の技術力が問われる大会となったが、選手は持ち得るパフォーマンスを全力で発揮し、ケガもなく全員（4 名）が全日本への出場権を獲得した有意義な大会であった。

【成績：栃木県（北関東)】

男子　１位（14 位）笹岡　岳：今 市

２位（28 位）遠藤真澄：足利 SB

３位（39 位）石田豊友：鶏頂山

女子　１位（ 5 位）福田記子：宇都宮

第６３回全日本スキー技術選手権大会

１．　期　　日　２０２６年3月４日（水）～3月８日（日）

２．　会　　場　田沢湖スキー場

３．　監　　督　鈴木幸展

４．　コ　ー　チ　小澤大介、泉　悠太、斎藤紀幸

５．　参　加　人　数　７名

６．　概　　要　3/4 は公式練習ということで大会コートを数は限られてしまったが、各々が課題をもってトレーニングに臨めていました。また、スタッフ側も 4 コート同時進行だったので、コートを行き来しながら選手ファーストで業務に努めました。

3/5、3/6 で予選種目 4 種目を行い、降雪、日差し、天気の変化によってめまぐるしくコース状況が変化する中で、雪質に合ったタッチ、安定したセンターポジションで適切なエッジングができスキーの軌道をうまく引き出せている選手に高得点が付いていた。その中でも特にセンターポジションの乱れがあると大きく減点対象となっている印象だった。栃木県選手は福田司が 59 位、中澤乃愛が 26 位で予選通過し決勝へ進んだ。おしくも予選敗退となったメンバーの成績は下記のとおり

【成績：予選】男子 142 位　松田師成（黒磯）

男子 201 位　矢板　拳（宇都宮）

男子 208 位　池上貴一（黒磯）

女子 140 位　神沢照代（宇都宮）

女子 146 位　糸井千順（おおひら）

3/7 の決勝は大荒れの天気となり、国体コースで予定されていたフリーウェーブ種目がキャンセルとなり、さらに小回りリズム変化が黒森山 A コースへ変更となるなど、かなりハードな 1 日となりました。決勝の成績は福田司が 36 位とＳＦまで 2 ポイントまで巻き返したが、ＳＦ進出とはならなかった。しかし、黒森山 B コートでの不整地小回りで、276 ポイントで種目別 1 位を獲得。大きなインパクトを残すことができた。中澤乃愛は予選に引き続き安定した滑りを見せたが、他の選手も良いパフォーマンスを見せ少々順位を下げ 30 位でフィニッシュとなった。

【成績：決勝】男子 36 位　福田　司（宇都宮）

女子 30 位　中澤乃愛（宇都宮）

第２３回全日本スノーボード技術選手権大会

１．　期　　日　２０２６年2月２６日（木）～１日（月）

２．　会　　場　鹿沢スノーエリア

３．　監　　督　大谷昌弘

４．　参　加　人　数　４名

５．　概　　要　北関東技術選を勝ち抜いた４名がエントリーし、それぞれの選手が自分の持ち得る技術をもって大会に望んだ。

2月に入ってからの暖かい天候によりスキー場全体で雪が緩み、バーンコンディションも悪い中で大会が開催されたが、男子FS１名が決勝に進んだものの、残る３名は残念ながら予選敗退となった。

今年は、栃木県として少人数の大会となってしまったが、今後の県連スノーボード界の底上げや牽引する人材の育成、指導者の確保、選手の育成が必要と考える。

【成績：予選】

男子（FS）

96位（決勝進出）笹岡　岳：今市

186位（予選敗退）遠藤真澄：足利SB

男子（AL）

35位（予選敗退）石田豊友：鶏頂山

女子（FS）

58位（予選敗退）福田記子：宇都宮

【成績：決勝】

84位　笹岡　岳：今市

SAJ教育本部・北関東ブロックスキー技術員研修会

１．　期　　日　２０２５年１２月６日（土）～７日（日）

２．　会　　場　群馬県　鹿沢スノーエリア

３．　参　　加　　者　ＳＡＪ専門委員　斎藤貴次、川口　悟（本部役員）
栃木県選出ＳＡＪ教育本部スキー技術員１８名

４．　概　　要　今年度の研修会は、SAJ 教育本部普及部長、各県連教育本部長、専門委員、各県連選出スキー技術員と、SAJ ナショナルデモンストレーター（丸山淳也、伊藤浩樹、切久保香澄、穴田玖舟、勝浦由衣、辻村友寿）６名、SAJデモ（石川千尋、田島大紀）２名、北関デモ（福田司、中澤乃愛、小池峻、関奈々星）４名の参加により１泊２日の日程で行われた。

初日は開会式後、雪上に移動しデモによるデモンストレーションを専門委員が解説し、その内容と動作などのポイントの説明が行われたのち、各班に分かれ実技の研修を行った。

昨シーズンに発刊された『日本スキー教程』の「一貫性のある組み立て」を柱に進められた。ポジショニング、荷重動作、エッジングの３つの基本動作を確認し、いかにターン始動時に正確なポジション・重心位置をセッティングできるかをポイントに伝達が行われた。低速から高速まで先述の動作が一貫した組み立てで指導を展開していける内容のものとなっている。

夕方からは、理論研修として、スクール振興委員会、技術選各委員会、検定委員会、総務委員会、国際情報委員会、研修委員会、研修課題・ジュニアＰＪ等、ＳＢ委員会の各専門委員より伝達が行われた。また、新たな取り組みとして、「まつだ整形外科クリニック」院長の松田芳和様を

お招きし、膝関節の主なケガ、手術について、ひざの再生医療（血液由来、脂肪由来）に関しての講話を視聴し、NO SKI NOLIFE ＝ NO SKI NOKNEE 膝が元気な状態こそ、スキーが生涯スポーツになるという新たな視点が生まれた。

２日目は県連ごとの班に分かれ、斎藤、川口専門委員と丸山淳也ナショナルデモにより、前日の雪上研修を振り返りながら再確認を行った。また、各県選抜メンバーがジャッジマン研修ということで、今回参加のナショナルデモ、SAJ デモ達の滑りを見てジャッジするということもわれた。

今シーズンは例年より雪付きがよく、2 ゲレンデが使えたことで斜度に合わせて様々な種目、内容を研修できてとても有意義な時間となった。

最後に、スキー場関係者のコース作りなどの協力により、研修会が無事に行われたことに感謝したい。

SAJ教育本部・北関東ブロックスノーボード技術員研修会

１．　期　　日　２０２５年１２月６日（土）～７日（日）

２．　会　　場　群馬県　鹿沢スノーエリア

３．　参　加　者　今井盛夫、髙橋深雪

４．　概　　要　昨年に引き続きの研修テーマをブラッシュアップする形で北関東 SB 技術員全員で共有し理解を深めため、ＳＡＪデモンストレーター瀧口デモを中心に理論研修と雪上研修で安全に怪我することなく実施できた。

スノーボードパトロール種目を技術員全員で認識を確認した。

SAJ教育本部・スキーパトロール技術員研修会（北関東ブロック他）

１．　期　　日　２０２５年１２月５日（金）～７日（日）

２．　会　　場　ビラタス蓼科スノーリゾート

３．　参　加　者　矢板　拳

４．　概　　要　○12/5（金）

・開会式
・理論研修①（ＳＡＪの研修課題）
　担当：赤松かおり
・実技研修①（ロープ・三角巾/安全対策部の研修課題）
　担当：平川朝水

○12/6（土）

・実技研修②（検定基礎種目の確認）
　担当：平川朝水
・実技研修③（SAJ 研修テーマ）
　担当：赤松かおり
・理論研修②（検定合格基準の明確化）
　担当：小笠原崇文
・理論講習（事業と役員配置）
　担当：上杉一哲

○12/7（日）

・実技研修④（スノーボード/アキヤボート種目の確認）
　担当：新井和夫
・閉会式

○概要

検定種目や今期のテーマを研修し、養成講習内容の向上に努めることを確認した。

今期より新たに開始されるスノーボードパトロールの検定に伴い、各種目の確認や留意点の共有を行った。スノーボード受験者の講習には課題があるため、都度改善していく必要がある。

また、他県連技術員との交流や情報交換を行い、理解を深めることができた。

上記内容を基に養成講習会に反映していく。

SAJ全国安全対策委員長会議

１．　期　　日　２０２５年１１月８日（土）

２．　会　　場　ＪＳＯＳ３階　会議室

３．　参　加　者　安全対策委員長　新井和夫

４．　概　　要　審議事項

（1）2026　SAJ 教育本部安全対策部事業計画

（2）2026　SAJ 教育本部「受検者ハンドブック」改定について

（3）各加盟団体安全対策委員会からの審議事項

（4）その他

報告事項

（1）加盟団体安全対策委員会より報告

（2）2025 安全対策部事業報告

（3）その他

概要

今年は長年にわたり課題であったスノーボードによる公認パトロール検定会を第２会場で実施することとなりました。

スノーボードの検定部分ではスノーボード委員会から検定委員を３名派遣して頂き、安対部と合わせて実施する説明を受けました。

各加盟団体報告では本県を含めて各県連の事業報告を受けました。

その他質疑応答ではスノーボードの検定についての質問が多く、スノーボード養成講習会が行えない県はどの様に対応をすれば良いかと、初めての事業なので SAJ も各県連も手探りの部分もあると感じました。

今後はスノーボードパトロールの受検者が出願されてくれば、栃木県としても対応できる体制を確立していきたい。

2026年度 各種資格検定合格者名簿

公認スキー指導員 合格者

No	氏　名	所　属
1	手塚　直樹	宇都宮

公認スキー準指導員 合格者

No	氏　名	所　属
1	中津　　淳	日　光
2	上吉原　透	日　光
3	橋本　祐之	那　須
4	手塚　信宏	那　須
5	半田　栄一	宇都宮
6	木戸　敬治	宇都宮
7	藤田　直也	宇都宮
8	荒崎　結亮	宇都宮
9	海老沼　宏行	鶏頂山
10	柚木　泰広	足　利
11	小貫　将一	足　利
12	江原　悠貴	足　利
13	小林　幸雄	佐　野
14	染谷　光拡	佐　野
15	石田　麗來	今　市

公認スノーボード指導員 合格者

No	氏　名	所　属
	該当者なし	

公認スノーボード準指導員 合格者

No	氏　名	所　属
	該当者なし	

公認スキーパトロール 合格者

No	氏　名	所　属
	該当者なし	

公認スキーA級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
1	細貝　富之	ハンターマウンテン

公認スキーB級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
1	冨山　愛佳	宇都宮
2	笹尾　優介	埼玉県

公認スキーC級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
1	中津　淳	日　光
2	上吉原　透	日　光
3	手塚　信宏	那　須
4	半田　栄一	宇都宮
5	木戸　敬治	宇都宮
6	藤田　直也	宇都宮
7	荒崎　結亮	宇都宮
8	海老沼　宏行	鶏頂山
9	柚木　泰広	足　利
10	小貫　将一	足　利
11	江原　悠貴	足　利
12	橘　紅樹	福島県

公認スノーボードA級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
1	今井　盛夫	那　須
2	髙橋　深雪	今　市

公認スノーボードB級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
	該当者なし	

公認スノーボードC級検定員 合格者

No	氏　名	所　属
	該当者なし	

SATスキーインストラクター 合格者

No	氏　名	所　属
1	高梨　哲行	那　須
2	野村　吉則	宇都宮
3	小林　忠雄	鶏頂山
4	小林　直人	鶏頂山
5	山口　尊也	鶏頂山

バッジテスト 合格者

［クラウンプライズ］

No	氏　名	所　属
1	峯村　幸宏	長野県
2	長谷川　翔也	三重県
3	梅澤　勝哉	暫定会員
4	櫻田　　匠	埼玉県
5	橋本　知征	東京都
6	米良　有玄	東京都
7	西島　主悦	神奈川県
8	清水　敬祐	暫定会員
9	細田　俊雄	千葉県
10	柳瀬　光汰	大阪府

［テクニカルプライズ］

No	氏　名	所　属
1	石井　千博	群馬県
2	渡邊　真白	高体連
3	渡邊　真雪	高体連
4	西澤　夏海	北海道
5	小松崎　博人	茨城県
6	伊藤　正明	千葉県
7	内梅　逸人	東京都
8	宮田　修宏	東京都
9	森田　和義	東京都
10	笠原　寛基	神奈川県
11	岩渕　　仁	埼玉県
12	大豆生田　凌我	暫定会員

2027年栃木県スキー連盟強化指定選手名簿 (教育本部)

【男子】

氏名	所属
吉成　聡	那須スキークラブ
磯田　倫央	宇都宮スキー協会
浦田　昌弘	
小笠原一徳	
音村　保道	
折原　勲	
河﨑　英夫	
近藤　将人	
迫　和彦	
武田謙太郎	
西　直人	
福田　司	
矢板　拳	
渡辺　賢孝	
小林　拓己	鶏頂山スキークラブ
蜂巣　恒平	
福井　勝博	
中村　恵一	足利スキー協会
櫻井　鉄馬	鹿沼スキー協会
福田　雄太	
荒井　俊樹	今市スキー協会
池上　貴一	黒磯スキー協会
松田　師成	
山田　裕斗	
高塩　大樹	大田原スキークラブ
今井　雄太	上河内スキークラブ

【女子】

氏名	所属
神沢　照代	宇都宮スキー協会
冨山　愛佳	
中澤　乃愛	
糸井　千順	おおひらスキー協会

※当該候補者（案）は、2026北関東スキー技術選手権大会出場者30名

２０２６シーズン　教育本部最優秀選手・優秀選手

最優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
福田　司	宇都宮	スキー	全日本技選決勝３６位　（昨年度2025決勝78位） ※決勝:急斜面不整地種目別１位（276P）
			※スーパーファイナル進出３０位まで２Ｐ足らず。

優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
中澤乃愛	宇都宮	スキー	全日本技選決勝３０位　（昨年度2025決勝59位）
			※スーパーファイナル進出１５位まで２９Ｐ足らず。